

みて！みて！きて！

ミニ情報



発行者 「エコ・サポート21」
 天神3丁目11番31号
 電話 23-5144

分けて（分別）減らして（減量化）いかそう をキャッチフレーズに

上田市ではごみ減量のキャッチフレーズを定め、ごみ減量推進を重要施策としています。その為にも「市民一人ひとりの努力」が不可欠です。御協力をお願いいたします。

地球環境を考えても、ごみとなる包装容器を出来るだけ少なくすることが1番です。ごみとなった包装容器は、「あなたのひと手間」で中をきれいにして分別をすることで、ごみは資源に変わります。あなたが主役です。

ごみをリサイクルしたり、焼却をしても、様々なエネルギーと費用が必要になります。

エコストアーでは、レジ袋削減のために3割を削減目標に揚げ努力されています。買い物の際は「マイバック」を持参すると、レジ袋が不要になります。レジ袋の年間消費量は100億枚です。もし3割削減されると原油がタンクローリー車18,000台分が不要になります。

資源として再生できる代表的な物が「牛乳パック」です。牛乳パックは、元は北欧などの針葉樹からできた上質な紙です。これも「ひと手間」、洗って乾かし広げて資源として出すと、6枚でトイレットペーパー1個に生まれ変わります。これを燃やすとCO₂-24g排出する事になり、これはエアコンを1時間使用した排出量と同じと言われています。ただし、古紙の中でもリサイクル出来ない物があります。

★リサイクル出来ない紙類・・・内側が銀色のパック・米袋・カーボン紙・感熱紙・匂いのついた洗剤、石鹼、線香の紙・防水してある紙コップ、紙皿、カップ麺容器等、これらは資源としては回収できません。燃やせるごみとして処理をして下さい。

■正しく分別が出来ているかを確認をして下さい■

☆このミニ情報のカレンダーにて毎月館内で行われる催しをお知らせいたします。催し物がない日でも、気楽にお出かけください。良い情報交換ができると思います。

★環境に配慮したグリーン購入のお手伝いとして、エコ文具の販売、ペットボトルから作ったネクタイの販売と、手づくりのリサイクル品、布ぞうり、袋物、さき織り製品等の販売をしています。

◎古着の回収

6月3日（金）午前10時から正午

時間内に持参してください。

衣類を燃やさずリサイクルしましょう。

平成28年6月号

1	水	
2	木	
3	金	古着回収日 10時～12時
4	土	休館日
5	日	休館日
6	月	
7	火	
8	水	
9	木	
10	金	
11	土	休館日
12	日	休館日
13	月	
14	火	
15	水	
16	木	着物地からトートバック作り①
17	金	
18	土	休館日
19	日	休館日
20	月	
21	火	
22	水	
23	木	着物地からトートバック作り②
24	金	
25	土	休館日
26	日	休館日
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	

さあ！出かけましょう エコ・ハウスへ

こうすればごみは減る！！

ごみ減量アドバイザーとして2年間、しっかり学んだ感想を書きます。

一世帯年間1tほどのごみを出して、それを焼却・固化して埋めています。下室賀にある最終処分場もいっばいに近い状態です。

現在上田市は、新たな施設が作れず、老朽化した焼却施設を何とか稼働させている状態と、いっばいに近い最終処分場の問題を抱えています。

まずは、

☆リデュース（減らすこと）

- ・買う前にはいらなくなった時の事を考える。
- ・使用後の処理方法を考える。
- ・安くても本当に必要かどうか考えて買う。
- ・上記の結果、スーパーの広告を見なくなり、無料でも必要でない物は断るようになった。

☆リユース（再使用）

- ・シャンプー、リンスなど詰め替えを選び、着なくなった洋服などエコハウスで月1回古着回収日に持って行くようにした。

☆リサイクル（再利用）

- ・新聞、広告、値札等の雑紙、段ボールを資源ごみとして出す。
- ・燃やせるごみの中で多くを占めていた「生ごみ」はコンポスターで堆肥化する。

この一年「燃やせるごみ」は週1回、「プラごみ」は1～2カ月に1回と、かなり減らすことが出来ました。リサイクルするから良いのではなく、リデュース減らす事が重要だと思います。一人ひとりがごみを出さない方法を考え、実行する事がごみ減量につながります。これからもごみ減量・再資源化など学んだことを伝えて行きたいです。

体験コーナー

★空き缶のリサイクル

★牛乳パックのリサイクル

少しの時間で作れる物があります。

生ごみの堆肥化とごみ減量

わかりやすく、すぐ実行できるごみ減量法をアドバイスいたします（申込不要）。

★生ごみ処理基材「ぱっくん」は、4月1日から、無料で配布しています。

生ごみを燃やさず、有効活用しましょう。

“焼却炉がギブアップです！”



◎わくわく講座（参加費各回 100 円）

申し込みは6月1日（月）以降、電話でエコ・ハウスへ（受付は電話のみ）。

★着物地からトートバック作り（定員 8 名）

不要なものがリサイクルやリフォームで生まれ変わる楽しさを体験しませんか。

日 時：6月16日（木）、23日（木）午前10時～午後3時（2回コース）

持ち物：着物（ほどいて）、裁縫道具、裏用布、昼食

諸経費：100円

材料費：別途

◎古着回収

エコ・ハウスでは、6月3日（金）午前10時から12時まで、不要になった衣類の回収を行います。

毎回、多くの市民の方が衣類を持ってこられ、「捨てるに捨てられず困っていましたが、利用してもらえて良かった！」と感謝して帰られる方が大変多く、サポーターも汗だくですが回収を始めてよかったと思っています。『毎月第一金曜日』午前10時～12時が回収日です。ごみ減量のために御協力をお願いいたします。

申し込み、問い合わせ先

「エコ・ハウス」（上田クリーンセンター内） 上田市天神 3-11-31 TEL23-5144

エコ・サポート 21 ホームページ <http://www.city.ueda.nagano.jp/haiki/kurashi/gomi/eco-house/>